

第6学年2組社会科学学習指導案

日 時：平成25年7月2日（火）第5校時

場 所：6年2組教室

授 業 者：坂田 樹哉

共同立案者：山田真規子 吉牟田幸子 池田 正紀

池田美奈子 副島 里央 小木曾愛李

尾崎 寿樹

1 単元名 ロードロマン～鎌倉街道から時代をひもとこう～

2 単元目標

- ・鎌倉街道の様子を調べて、友達に伝えようとしている。 (関心・意欲・態度)
- ・いろいろな地形図から校区の地形の特徴を読み取ることができる。 (資料活用の技能)
- ・鎌倉街道を通じて昔の道はどんな場所にできるのか理解できる。(社会事象についての知識・理解)
- ・校区を通る鎌倉街道を自分の足で歩き、当時歩いた人たちの苦勞や地形の様子を想像し、絵手紙に表現する。 (社会的な思考・判断・表現)

3 単元について

日本の中央史を学ぶ時、その時代の人々がどのような暮らしをしていたのかを考える上で、地方の歴史(地元史)を学習することは有効であると考え。地元に残る資料は、見学に行けば、実物の資料を見ることができる。そして何より歴史に関係するものが、自分の身近にあると分かると興味をもって中央史の学習に取り組むことができると考えられる。

本校の学区は、地域教材が豊かな土地である。奈良時代に制定された律令制度に基づいて作られた東海道あづまかいどうが通っている。この道は、鎌倉時代に源頼朝が幕府を鎌倉に置いたときに、鎌倉と朝廷を結ぶ最重要幹線道路として使われた。現在の地図と重ねると、豊田市駒場町から刈谷市一里山町の富士塗料から竜ヶ根池を沿って北上し、石川木材店の敷地を通り、富士松図書館と釣り堀の間の道を通り、そのまま祖母神社、酒井神社を通過して境川に渡って豊明市に抜けていくように道が通っている。富士塗料から竜ヶ根池、そして祖母神社の敷地内には、今も鎌倉街道の碑とともに道があったことが示されている。祖母神社から、酒井神社までの道は土地改良されて田んぼになってしまいルートが分からないが、江戸時代の古地図によると、ルートが3つに分かれているので、どのルートが最も有力か、子どもたちと歩き、想像させたい。実際に自分たちの足で歩いて行ける範囲に教材があるので、鎌倉街道を利用していた昔の人の思いが想像しやすいと考える。また、なぜこの場所を通じたかということを探ることで、街道の歩き方や当時の地形を読み取ることができる。このような学習を通して鎌倉街道を調べることで、昔の歴史、地形をひもとくことができると考える。

4 単元構想

本単元では、「街道」という単語をもとに古道について考えさせる所からスタートする。出発地と帰着地がある道を街道といい、鎌倉から京都までを結んだ線を地図に書き込み、一本の街道を日本地図上に示す。そして範囲を本州から愛知県、刈谷市とだんだん焦点化していき、この富士松北小学校の辺りを街道が通っていることに気づかせる。この街道には「鎌倉街道」と名前があることを知らせ、子どもたちに鎌倉街道について名前から分かること、既に知っていることを発表させていく。【1-(1)ア】

境川の堤防から祖母神社を見ることで、自分が予想したルート of 理由付けをさせたい。また、祖母神社まで歩かせることで、当時の人々が、どんな思いを抱いて歩いてきたのかも想像させたい。鎌倉街道の導入後実際に境川堤防～酒井神社～祖母神社までを歩く。鎌倉街道を歩いた後、歩いてみた感想や疑問に思ったこと、調べてみたいことを発表させる。この道は何のために使ったのか、どんな人たちが通ったのか、何が運ばれたのか、いつ頃できたのかななどを自由に書かせる。【1-(1)イ】

感想や疑問の中から、追究課題を2つに絞って、考えさせたい。【1-(1)オ】

①道中どのように旅してきたのか、川はどのようにして渡ったのか。

②なぜ、鎌倉街道は、西境・東境を通っているのか。

この課題を追究していくために、街道の役割や、当時の地形にも目を向けさせ、街道の歩き方と地形が大きく関わっていることに気づかせたい。【1-(2)ウ】

本単元は、総合的な学習の時間とも関連づけて行うことで、時間数の確保と、地域への興味関心を高めることもねらっている。そこで、単元のまとめに、この地を旅した当時の人々の思いを想像させ、絵手紙に表現させて、まとめとしたい。【総合2-(1)ウ、3-(1)】

ロードロマン～鎌倉街道の秘密を探ろう～
単元の流れ

社会科4時間 総合4時間 計8時間
教師の手だて、指導上の留意点

鎌倉街道を知ろう ①【社会】
街道という言葉を知っていますか。

知っている・知らない
消えた鎌倉街道はどこにいったのか。

・3つのルートのうち、自分の指示するものを決める。

鎌倉街道を歩こう ②③【総合】
ルート：本校→酒井神社→境川堤防
→祖母神社

・これが道なんだ。・歩くって大変だな。
・堤防から見ると祖母神社は低いな。

感想の交流をして課題を作ろう ④【社会】

・道中どうやって旅していたのかな。
・境川はどうやって渡ったのかな。
・なぜこの場所に街道があるのかな。

ゲストティーチャーからお話を聞こう

⑤【総合】

山田孝先生の講演会「刈谷の歴史ロマン～北小学区はすばらしい～」を聞く。

・街道と道の違いを明確化しておく。
・街道は出発地と到着地があり、鎌倉街道は京の都から鎌倉までつながっていることを地図で示す。

・鎌倉街道の境川を渡るコースはA、B、Cと3説あるので、地図で示して提示する。

・地図を用意し、地図の上でも鎌倉街道を歩かせる。

・境川堤防から西境、東境を見せて、どの道を通って祖母神社までどのように通ったのか考えさせる。

・堤防から祖母神社までを歩かせ、歩いてみて疑問に思ったことを出させる。

・見学した後、再度資料のルートについて意見交流をする。

・課題を2つに絞り、これから調べることを意識させる。

・山田孝先生のお話を聞き、鎌倉街道についての知識を深めさせる。

鎌倉街道のふしぎ発見！ ⑥【社会】

○クエッション

どんな旅をしていたのか。

- ・休憩所があった。等間隔で宿があった。
- ・川を歩いて渡った。神社が宿代わりだった。

鎌倉街道でこの地域の秘密を探れ⑦【社会】

本時

○鎌倉街道はなぜ西境・東境を通ったのか。

- ・安全だった・神社や村があるから
- ・高くなっている。川の水が来ないところ

当時の人に向けて絵手紙を書こう

- ・「鎌倉街道がつなぐ人と文化」 ⑧【総合】
- ・「いのちがけの旅を見守る鎌倉街道」

- ・次の資料から当時の旅の様子を想像させる。

「千年の道」「名残の道」

- 1/2 地形図「知立」：明治26年発行
：昭和22年発行

- ・次の資料からこの地に街道を通した理由を読み取らせる。

「千年の道」「名残の道」

- ・デジタル標高地図を配付し、鎌倉街道が標高の境目を通っていることに気付かせる。
- ・道から当時の地形を想像させる。
- ・絵手紙に書く文を考えさせる。
- ・「鎌倉街道で日本につながりを」

ロードロマンを味わうことができる子

本時の指導（7/8）

1 本時の目標

- ・鎌倉街道について進んで発言することができる。（関心・意欲・態度）
- ・鎌倉街道はなぜこの場所を通るのか、地形の資料から読み取ることができる。（資料活用の技能）
- ・鎌倉街道について当時の人々の気持ちにせまり、絵手紙に書く内容を考えることができる。（思考・判断・表現）

2 指導構想

本時まで、鎌倉街道について見学し、刈谷市の白地図に道筋を記入してきた。見学後の感想の交流をした後、課題を作った。課題は「歩いている間どのように生活していたのか」「どうやって川を渡ったのか」である。この課題の答えを資料から探し、話し合い、解決させる。

本時では、「鎌倉街道がなぜ西境、東境を通るのか」という課題について考える。この時、「歩いて旅をするときにどんな道だといいいのか」を考えさせる。課題について話し合い、安全や歩きやすいという単語が出てきたら、それはどんな道なのかと問い直す。子どもたちの中で水害に合わない、ご飯を食べる場所があるなどの答えが出たら、デジタル標高地図で鎌倉街道が通る西境、東境を確認する。そして、鎌倉街道が、標高の8mのところを通っているということを確認させる。鎌倉街道が、その当時の安全なところを通っていたことを理解させたい。

3 本時の流れ

時間	学習活動	○指導上の支援・留意点
3	<p>本時の課題を確認する。</p> <p>ラストミステリー：鎌倉街道はなぜ西境・東境を通っているのか</p> <p>○当時の人になって道をつくるなら、どんなところに通しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く目的地に着けるところ ・安全な道 ・人がいるところ・歩きやすい所 ・高いところ・見通しが良いところ ・道がなくならないところ 	<ul style="list-style-type: none"> ・何が運ばれ、どれだけの期間歩くのかをふまえて考えさせる。 ○先日実際に歩いたことを思い出させる。 ・安全というキーワードに着目させる。 ・デジタル標高地図を配付し、鎌倉街道が標高の境目を通っていることに気付かせる。 ・道から当時の地形を想像させる。 ○伊勢湾台風でも水につからなかったことに気づかせる。 ・資料から当時の様子を想像させる。 ○高いところは安全ということを押さえさせる。
15	<p>○道をつくるのに適した場所について話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しが良いところ ・道がなくならないところ・人がいるところ <p>○デジタル標高地図から読み取れたことを発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑色と水色の境界線を通っているよ ・標高8mのところを結んでいるよ ・水色のところは水がくるところかな 	
25	<ul style="list-style-type: none"> ・神社と神社を結んでいるよ <p>○伊勢湾台風時の浸水地図を見て、気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水害にあっていない ・鎌倉街道は安全な道なんだ <p>○鎌倉街道の全景図を見て、気づいたことを発表する。</p>	
35	<ul style="list-style-type: none"> ・神社と神社を結んだところ ・南は低くなっているの、ぎりぎり水がこないところを通して ・まっすぐになるようにつくられている <p>○感想を書く</p>	

4 本時の評価

- ・鎌倉街道について進んで発言することができたか。(授業の様子から)
- ・鎌倉街道はなぜこの場所を通るのか、地形の資料から読み取ることができたか。(発言から)
- ・鎌倉街道について当時の人々の気持ちにせまり、絵手紙に書く内容を考えることができたか。(授業感想から)

4 本時の評価基準表

	十分満足できる (A)	概ね満足できる (B)	(B) に達しない児童への支援
関心・意欲・態度	鎌倉街道について、進んで発言することができた。	鎌倉街道について、自分の考えをノートに書くことができた。	歩いたときのことを思い出させて、書かせる。
思考・判断・表現	鎌倉街道がなぜこの場所を通っているのか、根拠をもって答えを出すことができた。	鎌倉街道がなぜこの場所を通っているのか、答えを出すことができた。	鎌倉街道はどんなところを通っていたか、今までの学習をふり返させる。
資料活用の技能	デジタル標高地図を見て、鎌倉街道は標高が高い所を通っていることが理解でき、理由も考えることができる。	デジタル標高地図を見て、鎌倉街道は標高が高い所を通っていることが理解できる。	デジタル標高地図で、水色が低く、緑が高い地形であることを教える。

5 ご高評